

数学クォータ科目「数学」第5回 (2/3)

行列の積

佐藤 弘康 / 日本工業大学 共通教育学群

行列の演算

- 【復習】 行列の（線形演算）演算
 - 同じ型の行列 A, B に対して, 和 $A + B$ が定まる.
 - 行列 A と実数 λ に対して, スカラー倍 λA が定まる.
- 2つの行列 A と B に対し, 積 AB が定義できる.
 - A と B はどのような型?
 - その定義は?
 - どのような意味を持つのか?

行列の積の定義

定義 (行列の積)

$m \times l$ 型行列 $A = (a_{ik})$ と $l \times n$ 型行列 $B = (b_{kj})$ に対し, その積 AB を

$$AB = (c_{ij}), \quad c_{ij} = \sum_{k=1}^l a_{ik} b_{kj} = a_{i1}b_{1j} + a_{i2}b_{2j} + \cdots + a_{il}b_{lj}$$

によって定める (AB は $m \times n$ 型行列である) .

行列の積の計算方法

例) $A = \begin{pmatrix} -3 & 1 & -2 \\ 1 & -2 & -1 \end{pmatrix}$, $B = \begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 0 & -1 \\ 3 & 2 \end{pmatrix}$ に対し, 積 AB を求める.

(1) A の方は行ごとに, B の方は列ごとにグループ化する.

$$AB = \begin{pmatrix} \begin{matrix} -3 & 1 & -2 \end{matrix} \\ \begin{matrix} 1 & -2 & -1 \end{matrix} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \begin{matrix} 1 & 2 \end{matrix} \\ \begin{matrix} 0 & -1 \end{matrix} \\ \begin{matrix} 3 & 2 \end{matrix} \end{pmatrix}$$

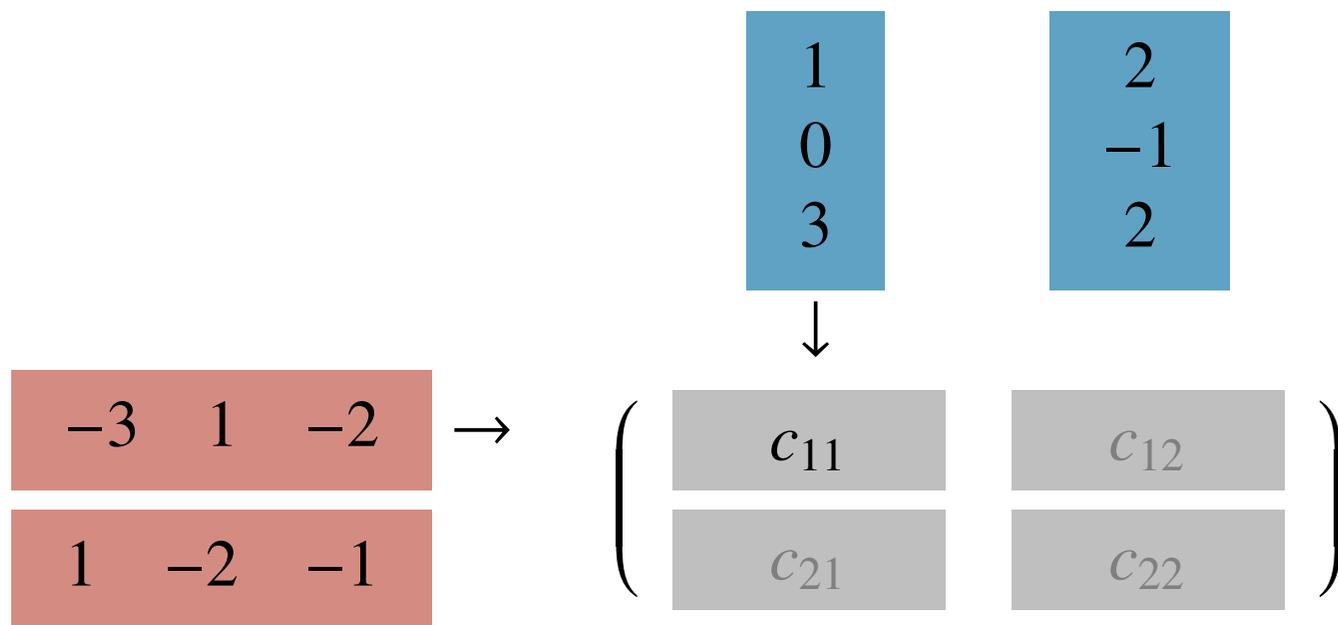
(2) A の第 i 行と B の第 j 列の **内積** を AB の (i, j) 成分とする.

行列の積の計算方法

(2) A の第 i 行と B の第 j 列の **内積** を AB の (i, j) 成分 とする。

$$AB = \begin{pmatrix} -3 & 1 & -2 \\ 1 & -2 & -1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 0 & -1 \\ 3 & 2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} c_{11} & c_{12} \\ c_{21} & c_{22} \end{pmatrix} \text{ とすると,}$$

(1, 1) 成分は, $c_{11} = (-3) \times 1 + 1 \times 0 + (-2) \times 3 = \underline{-9}$.

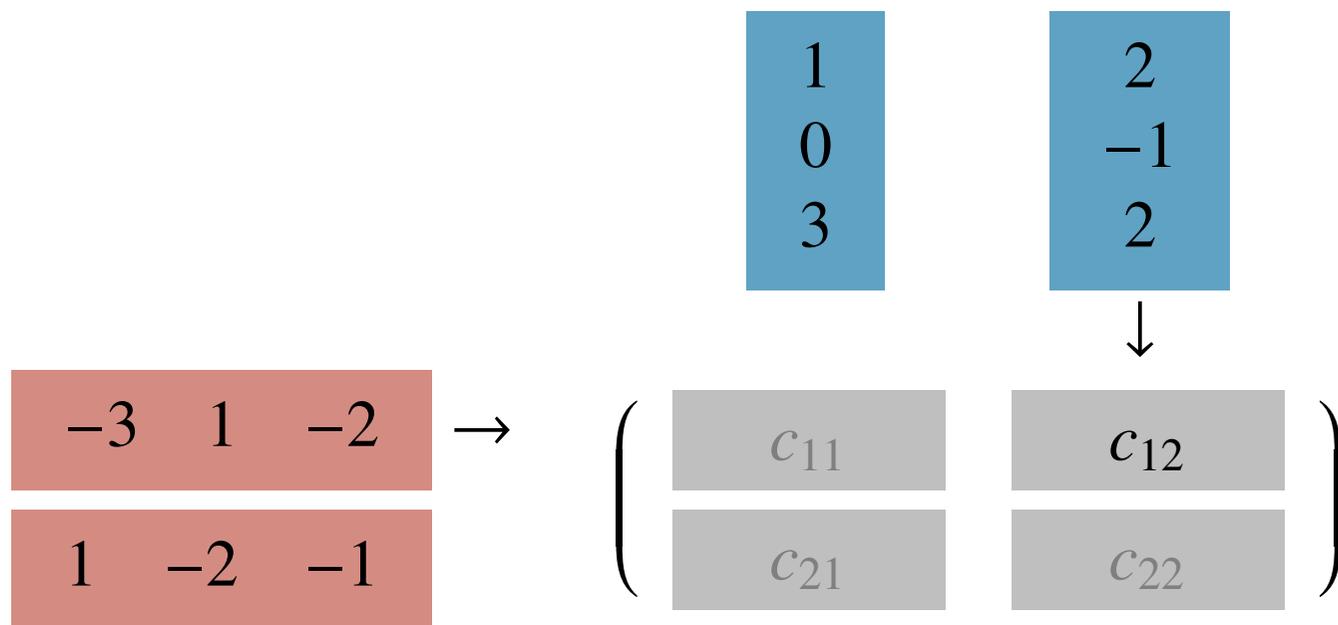


行列の積の計算方法

(2) A の第 i 行と B の第 j 列の内積を AB の (i, j) 成分とする。

$$AB = \begin{pmatrix} -3 & 1 & -2 \\ 1 & -2 & -1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 0 & -1 \\ 3 & 2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} c_{11} & c_{12} \\ c_{21} & c_{22} \end{pmatrix} \text{ とすると,}$$

(1, 2) 成分は, $c_{12} = (-3) \times 2 + 1 \times (-1) + (-2) \times 2 = \underline{-11}$.

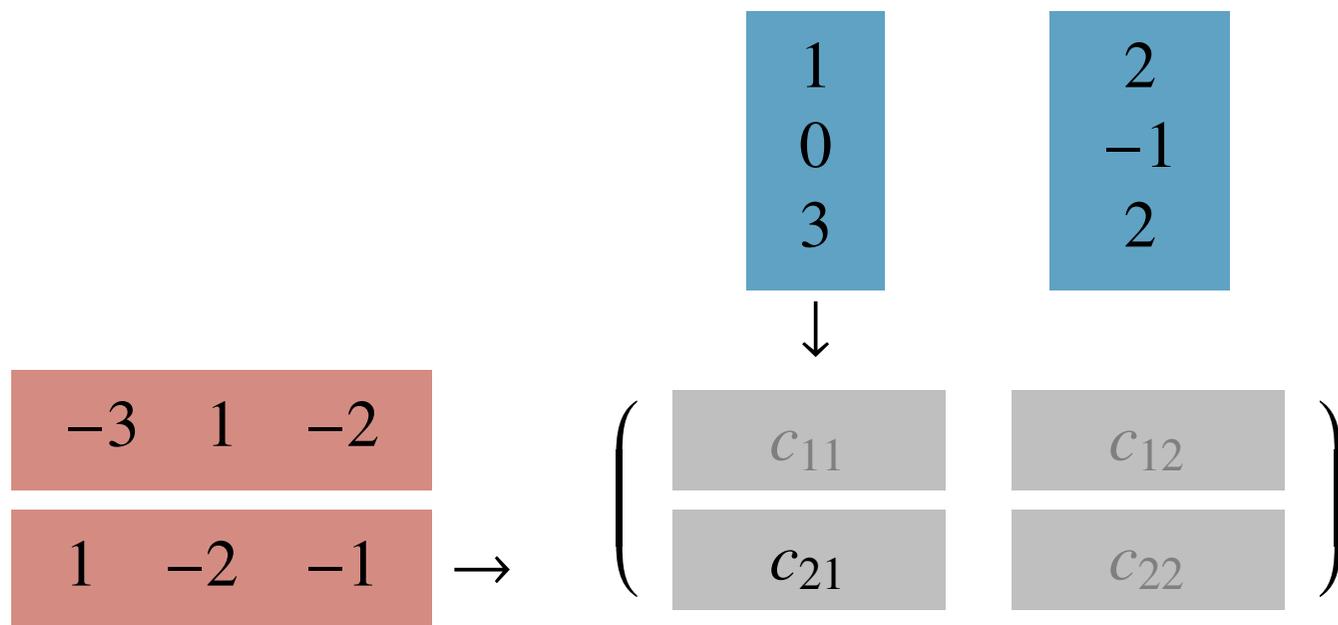


行列の積の計算方法

(2) A の第 i 行と B の第 j 列の内積を AB の (i, j) 成分とする。

$$AB = \begin{pmatrix} -3 & 1 & -2 \\ 1 & -2 & -1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 0 & -1 \\ 3 & 2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} c_{11} & c_{12} \\ c_{21} & c_{22} \end{pmatrix} \text{ とすると,}$$

(2, 1) 成分は, $c_{21} = 1 \times 1 + (-2) \times 0 + (-1) \times 3 = \underline{-2}$.

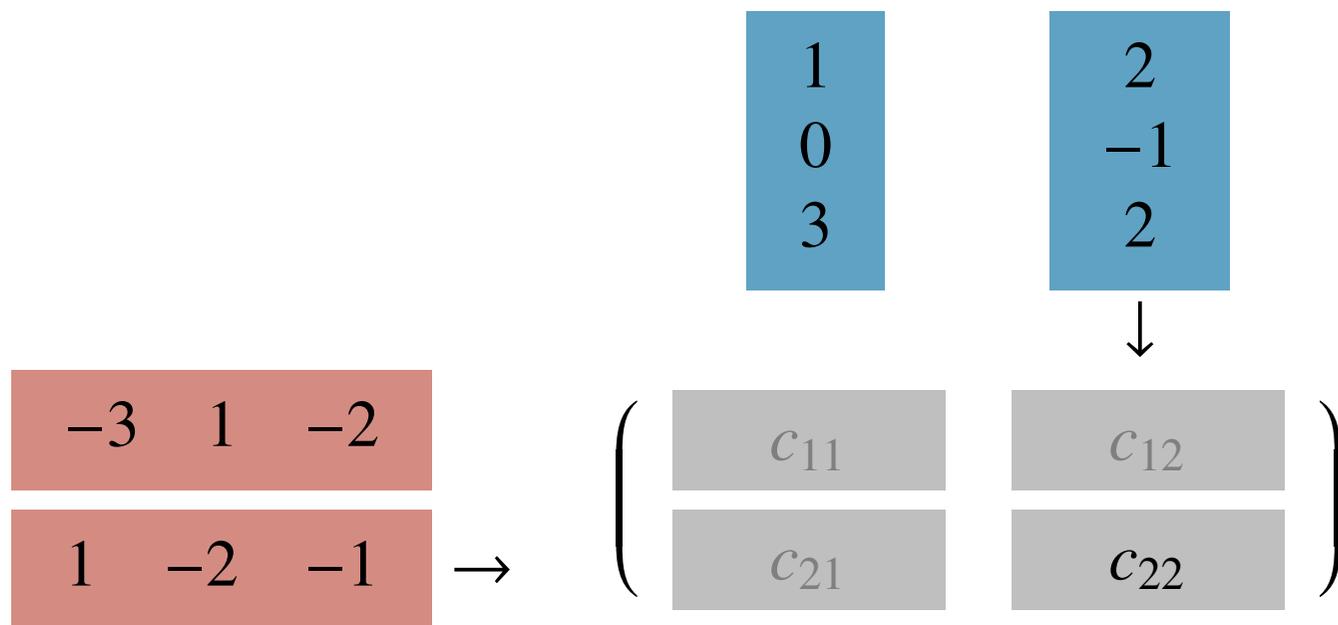


行列の積の計算方法

(2) A の第 i 行と B の第 j 列の内積を AB の (i, j) 成分とする。

$$AB = \begin{pmatrix} -3 & 1 & -2 \\ 1 & -2 & -1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 0 & -1 \\ 3 & 2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} c_{11} & c_{12} \\ c_{21} & c_{22} \end{pmatrix} \text{ とすると,}$$

(2, 2) 成分は, $c_{22} = 1 \times 2 + (-2) \times (-1) + (-1) \times 2 = \underline{2}$.



行列の積の計算方法

$$\begin{aligned} AB &= \begin{pmatrix} \boxed{-3} & \boxed{1} & \boxed{-2} \\ \boxed{1} & \boxed{-2} & \boxed{-1} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \boxed{1} & \boxed{2} \\ \boxed{0} & \boxed{-1} \\ \boxed{3} & \boxed{2} \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} \boxed{(-3) \times 1 + 1 \times 0 + (-2) \times 3} & \boxed{(-3) \times 2 + 1 \times (-1) + (-2) \times 2} \\ \boxed{1 \times 1 + (-2) \times 0 + (-1) \times 3} & \boxed{1 \times 2 + (-2) \times (-1) + (-1) \times 2} \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} -9 & -11 \\ -2 & 2 \end{pmatrix} \end{aligned}$$

行列の積の演算法則

(1) 結合法則

- $A(BC) = (AB)C$ (= ABC と表記する)

(2) 交換法則は成立しない.

つまり、必ずしも $AB = BA$ が成り立つわけではない.

(3) 分配法則

- $A(B + C) = AB + AC$

(4) 零行列 O の性質

- $AO = OA = O$

(5) 単位行列 E の性質

- $AE = EA = A$

行列の積の効用

(1) 連立1次方程式の行列表示

$$\begin{cases} ax + by = \alpha \\ cx + dy = \beta \end{cases} \iff \begin{pmatrix} ax + by \\ cx + dy \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \alpha \\ \beta \end{pmatrix}$$
$$\iff \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \alpha \\ \beta \end{pmatrix}$$

$A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$, $x = \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$, $b = \begin{pmatrix} \alpha \\ \beta \end{pmatrix}$ とおけば, 連立1次方程式は

$$Ax = b$$

と書ける.

行列の積の意味

(2) 平面の 線形変換

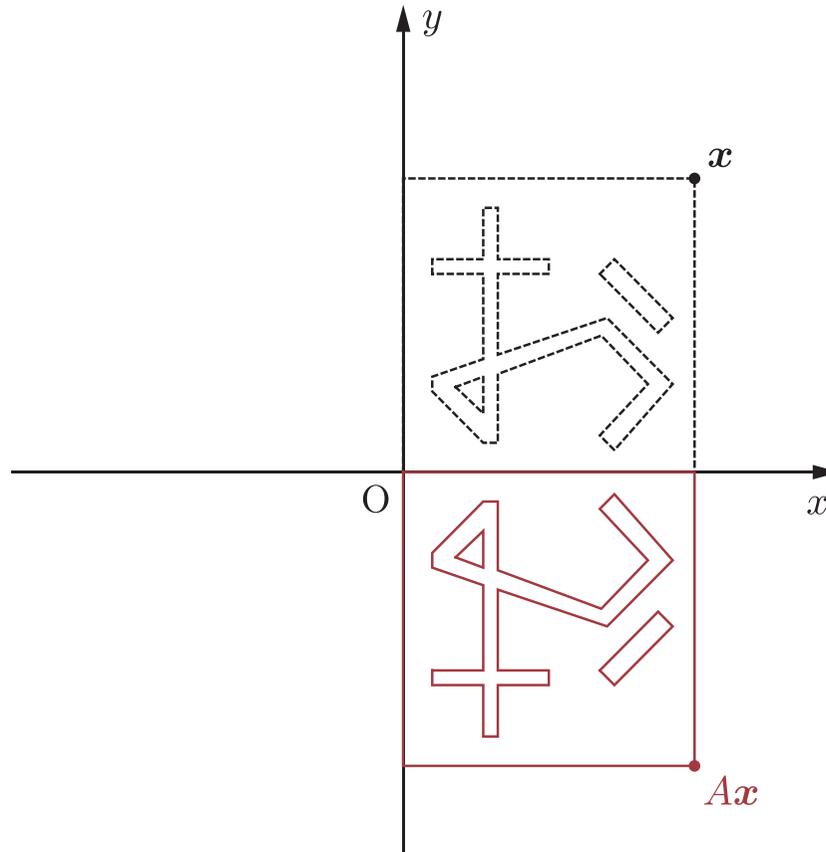
- 2次正方行列 A がある.
- 平面の座標 (x, y) を列ベクトル $x = \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$ と表す (同一視する).
- 点 x に対して, 点 Ax を対応させること ($x \mapsto Ax$) を,
「行列 A が定める線形変換 (または1次変換)」という.
- 行列 A によって, 「点 x が点 Ax に移った」と解釈できる.

行列の積の意味

(2) 平面の 線形変換

例 1) x 軸に関する対称移動

$$\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \mapsto \begin{pmatrix} x \\ -y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & -1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$$

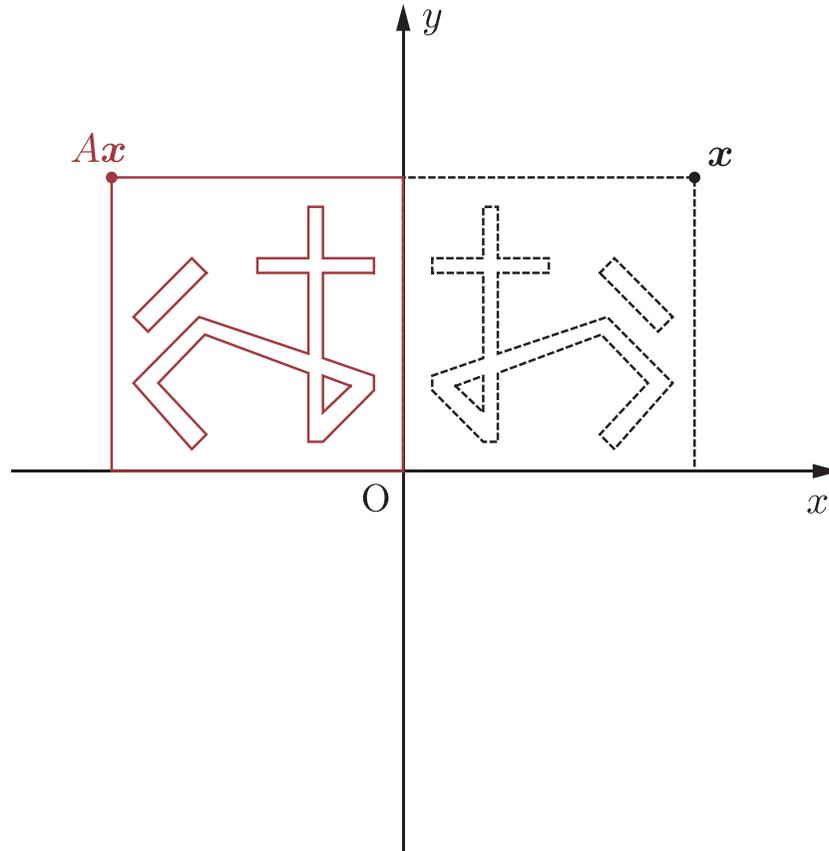


行列の積の意味

(2) 平面の 線形変換

例 2) y 軸に関する対称移動

$$\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \mapsto \begin{pmatrix} -x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$$

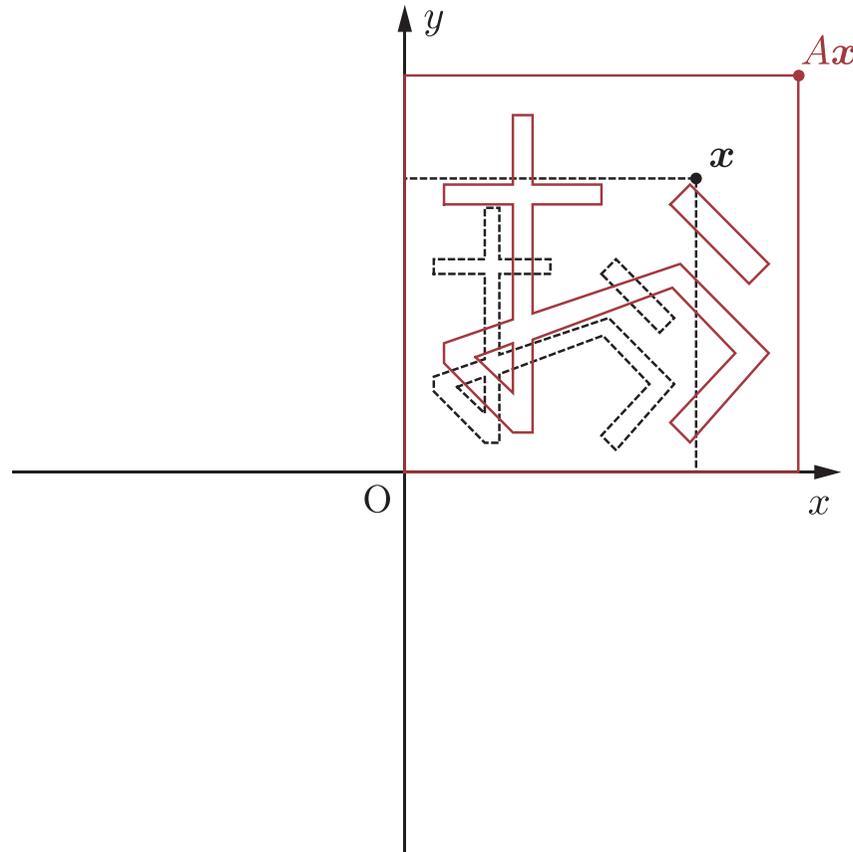


行列の積の意味

(2) 平面の 線形変換

例3) 相似変換 (拡大・縮小)

$$\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \mapsto \begin{pmatrix} kx \\ ky \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} k & 0 \\ 0 & k \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$$

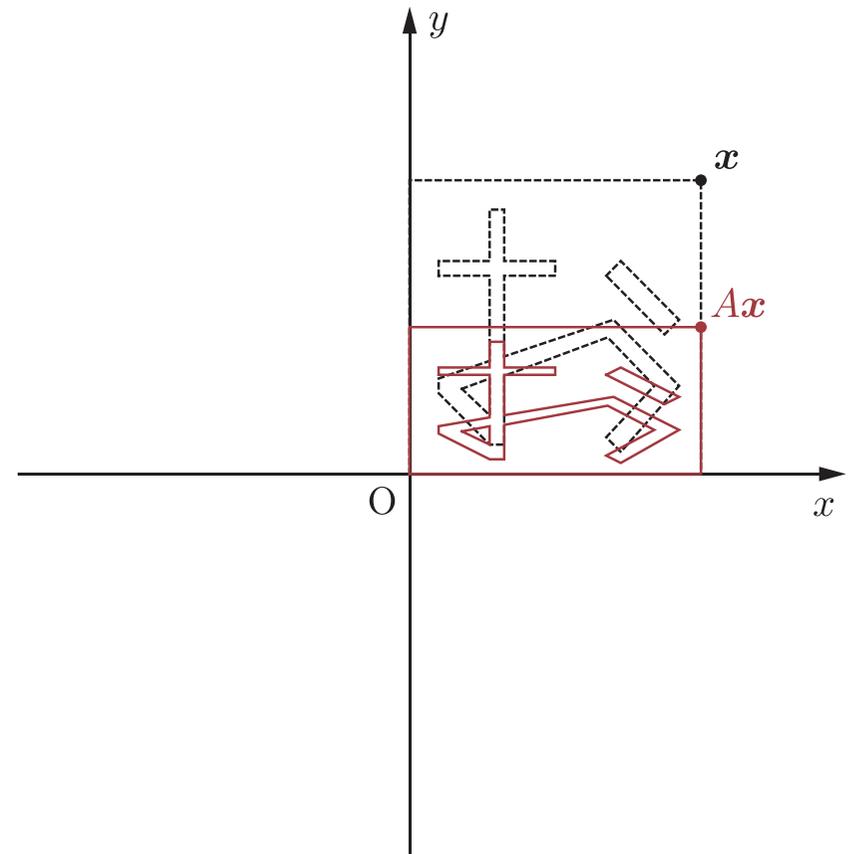
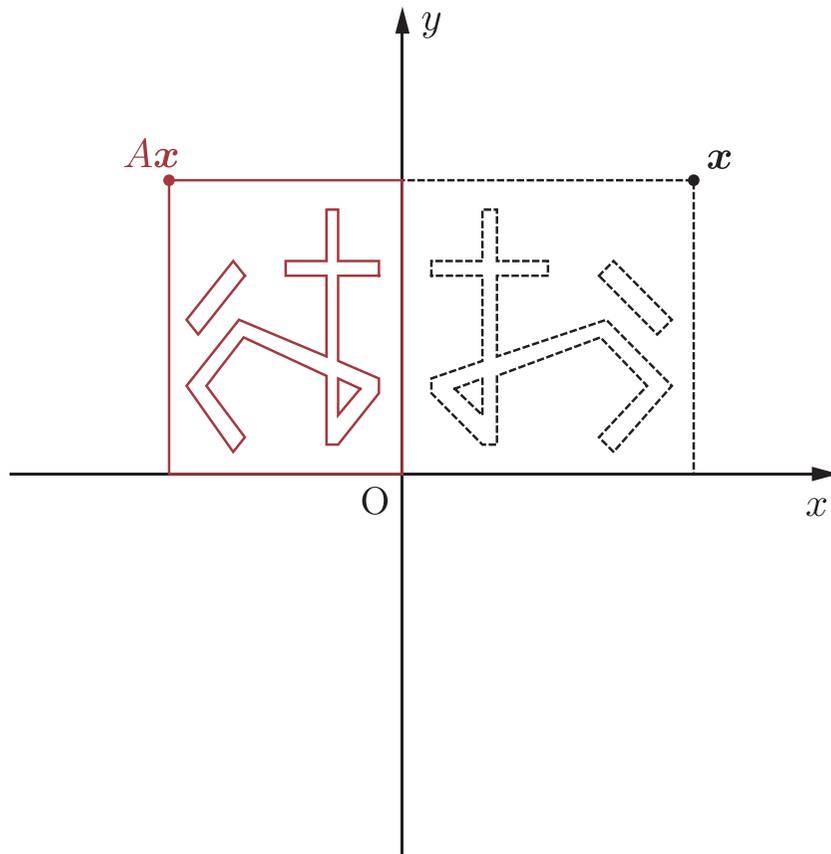


行列の積の意味

(2) 平面の 線形変換

例 4) 水平方向または垂直方向の拡大・縮小

$$\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \mapsto \begin{pmatrix} kx \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} k & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \qquad \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \mapsto \begin{pmatrix} x \\ ky \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & k \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$$



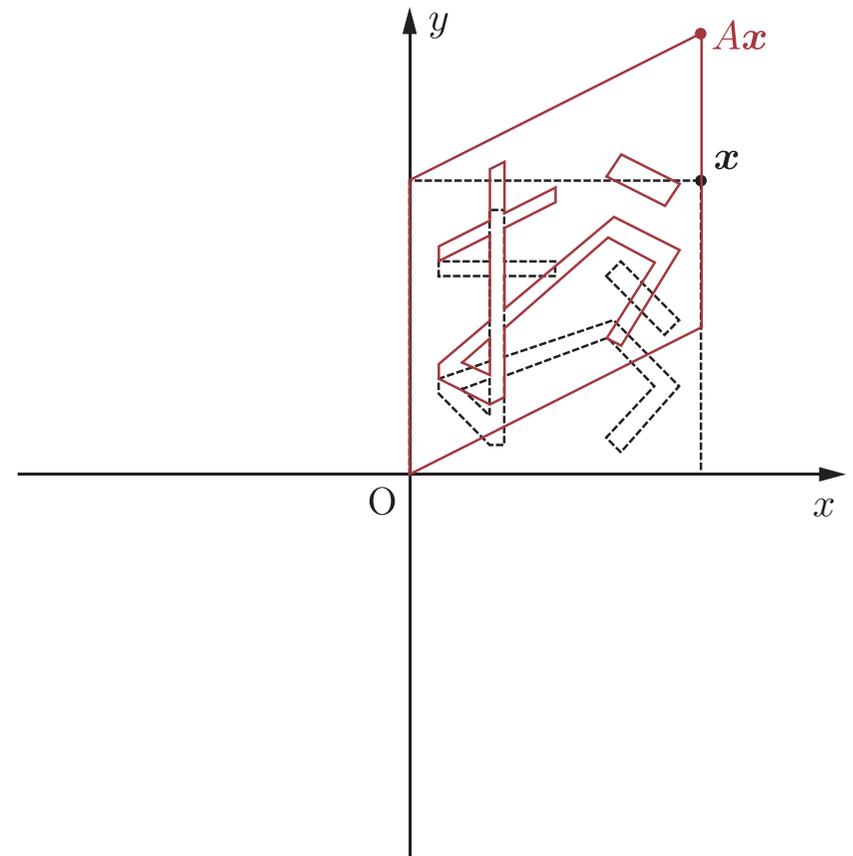
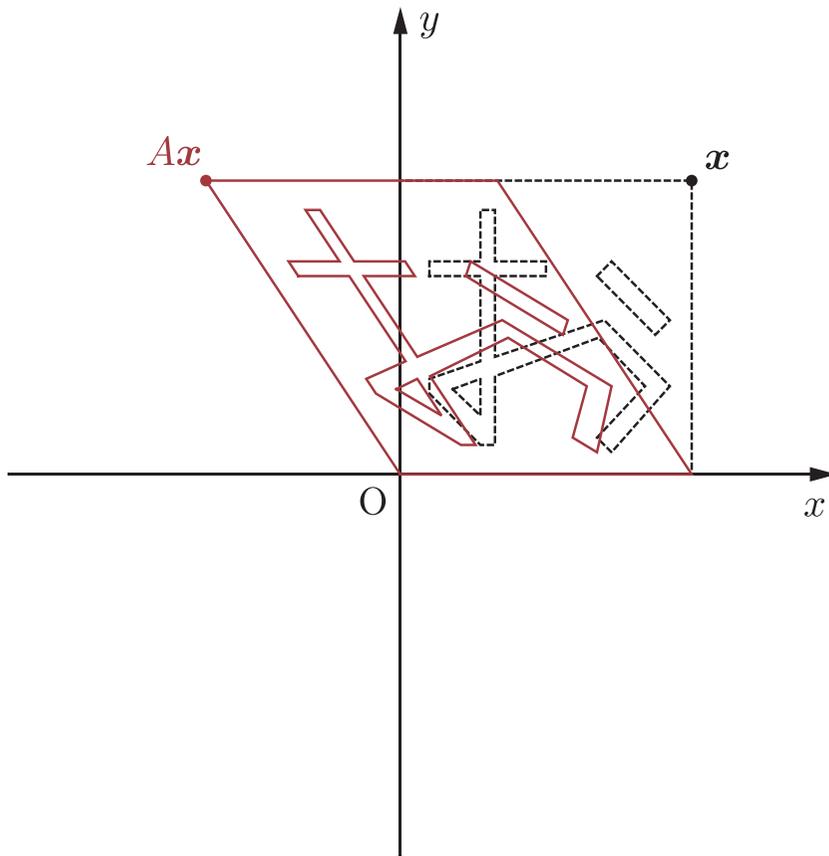
行列の積の意味

(2) 平面の 線形変換

例5) せん断

$$\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \mapsto \begin{pmatrix} 1 & k \\ 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$$

$$\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \mapsto \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ k & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$$

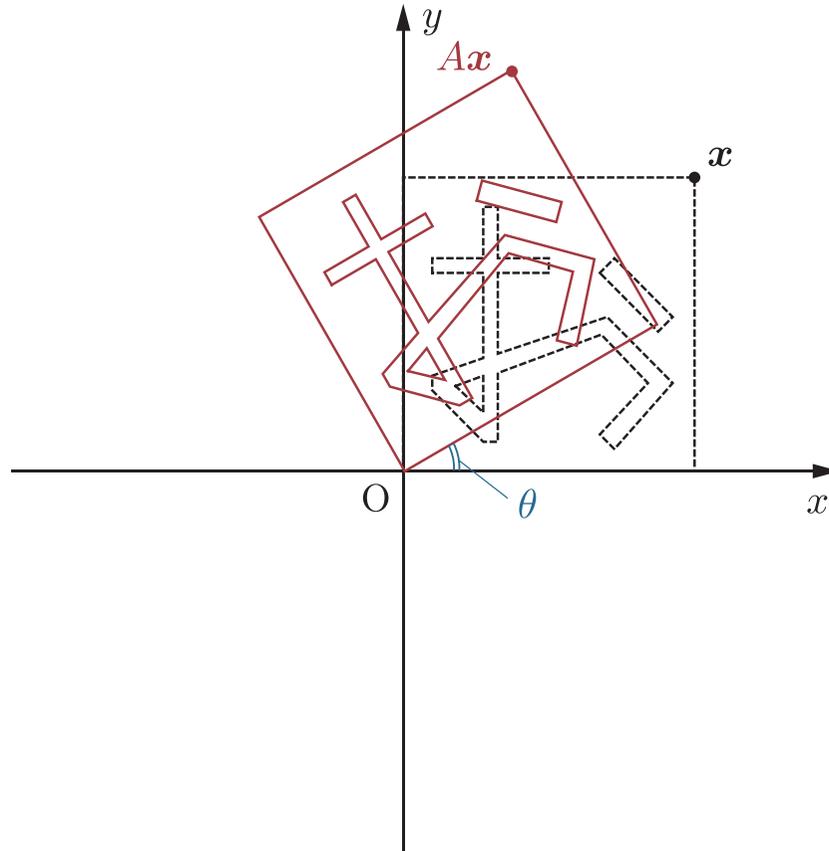


行列の積の意味

(2) 平面の 線形変換

例 6) 原点を中心とする角度 θ の回転移動

$$\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \mapsto \begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta \\ \sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$$

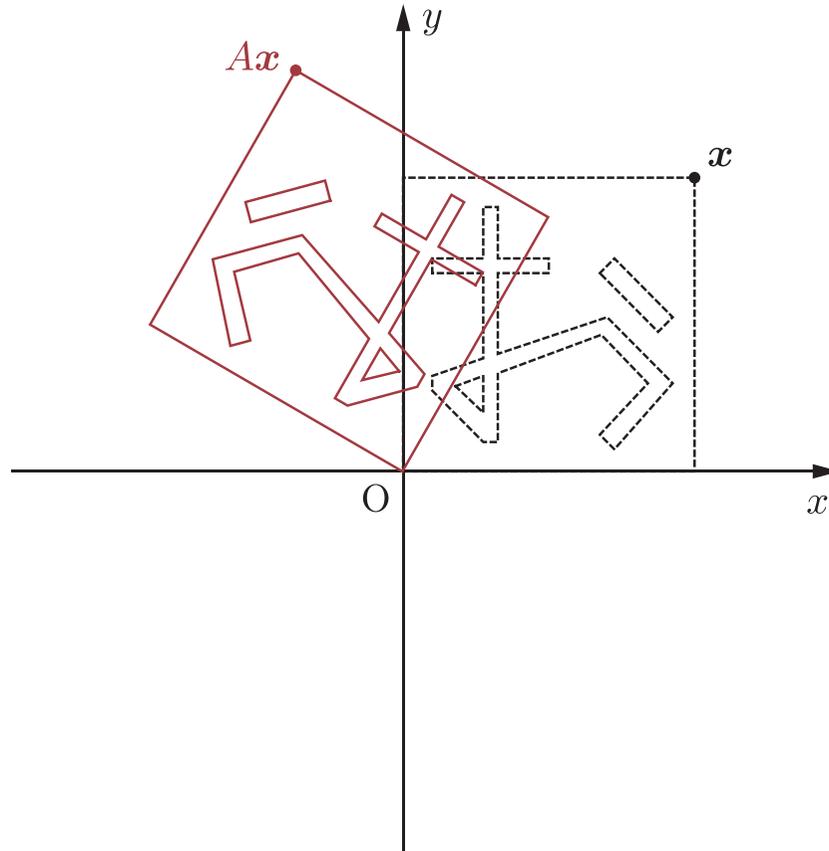


行列の積の意味

(2) 平面の 線形変換

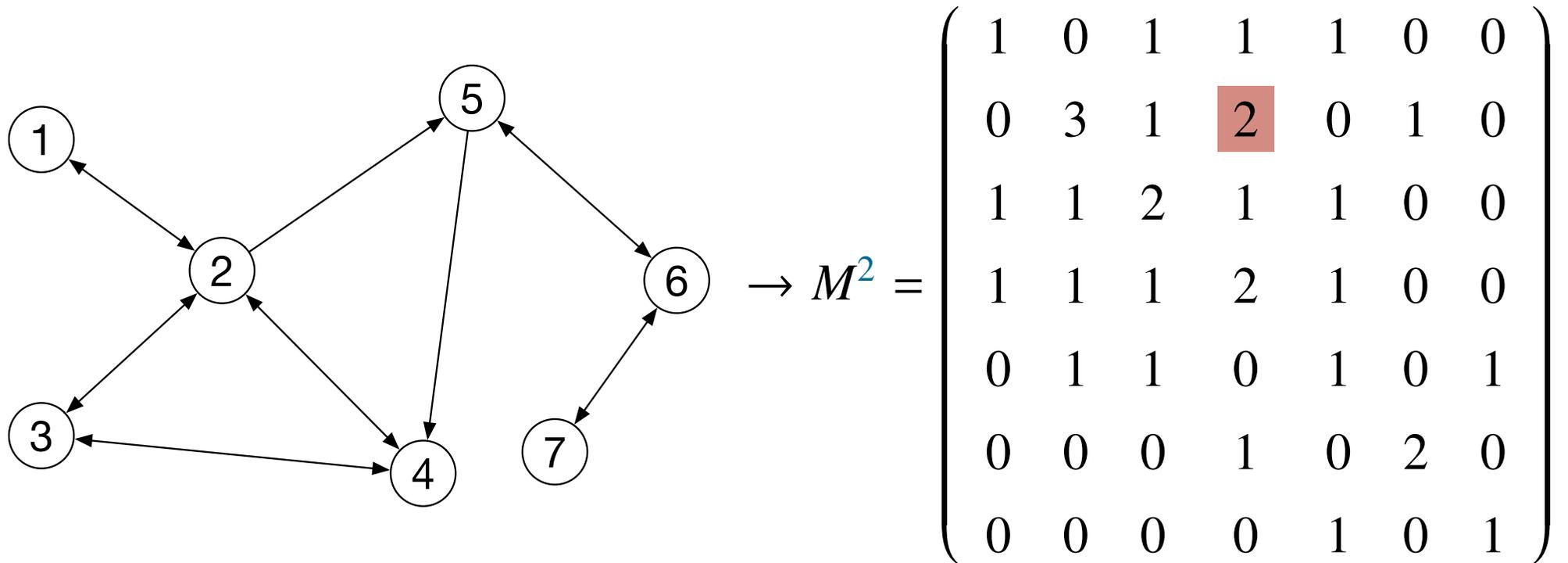
例 7) 原点を通る直線 l に関する対称変換

$$\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \mapsto \begin{pmatrix} \cos \theta & \sin \theta \\ \sin \theta & -\cos \theta \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$$



行列の積の意味

- (3) グラフの隣接行列 M の n 乗 M^n の (i, j) 成分は、
「点 i から点 j へ、 n ステップで到達する経路の個数」を表す。

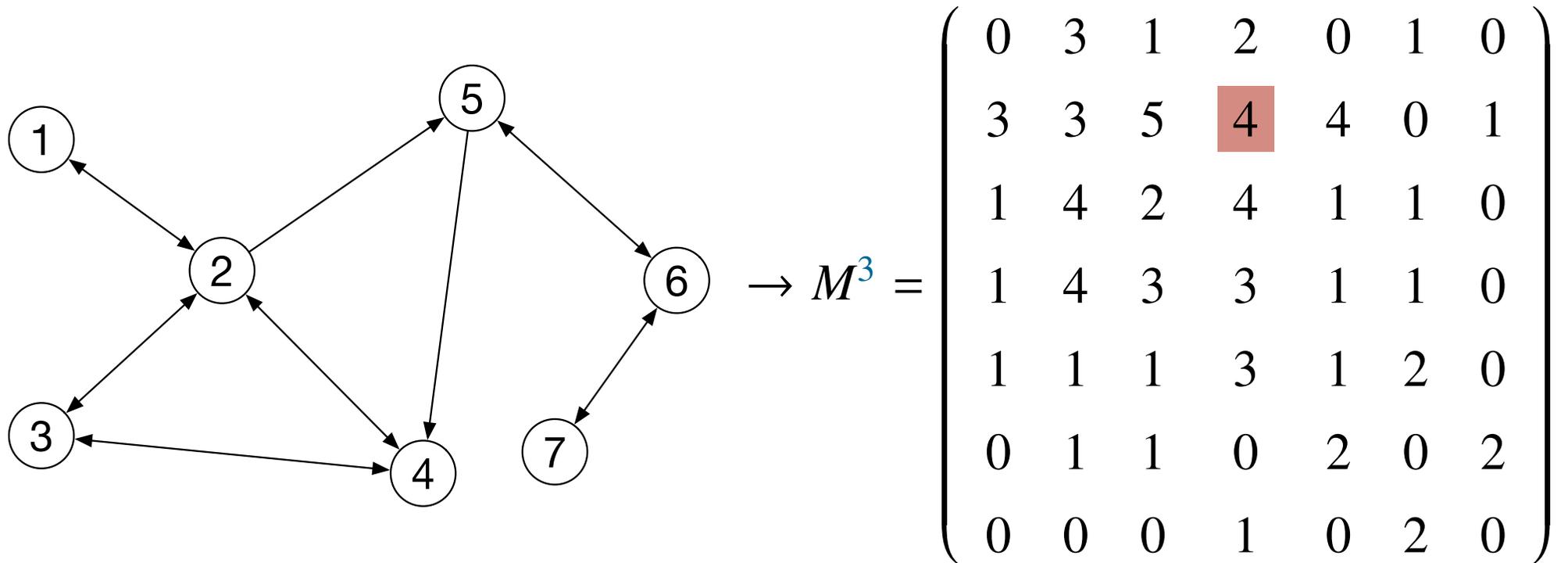


- M^2 の $(2, 4)$ 成分が **2**

\rightarrow 点 2 から点 4 へ、 2 ステップで到達する経路は **2** 個ある。

行列の積の意味

- (3) グラフの隣接行列 M の n 乗 M^n の (i, j) 成分は、
「点 i から点 j へ、 n ステップで到達する経路の個数」を表す。

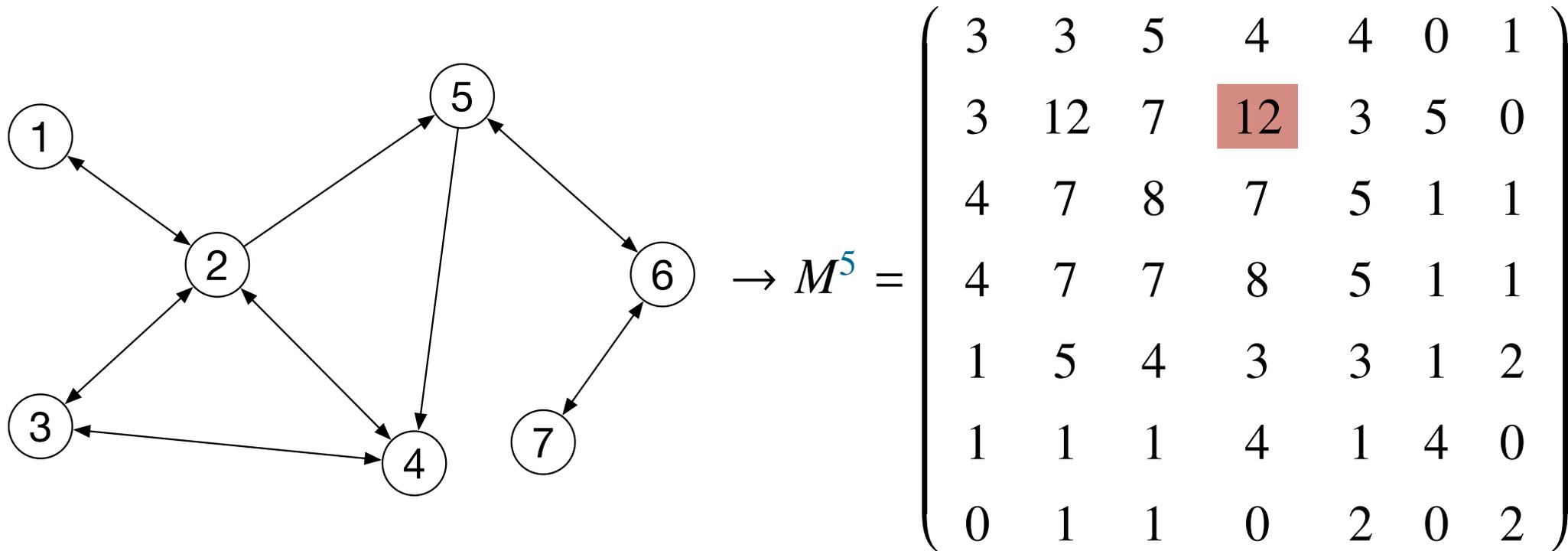


- M^3 の $(2, 4)$ 成分が 4

\rightarrow 点 2 から点 4 へ、3 ステップで到達する経路は 4 個ある。

行列の積の意味

- (3) グラフの隣接行列 M の n 乗 M^n の (i, j) 成分は、
「点 i から点 j へ、 n ステップで到達する経路の個数」を表す。



- M^5 の $(2, 4)$ 成分が 12

\rightarrow 点 2 から点 4 へ、5 ステップで到達する経路は 12 個ある。

今回（第5回講義）のまとめ

- (1)
 - 行列とは？… 数（成分）を格子状に並べたもの。行と列で構成。
 - 行列の型, 正方行列, 対角成分, 対角行列, 単位行列, 零行列
 - 和とスカラー倍の演算

- (2)
 - 行列の積
 - 連立1次方程式の行列表示

- (3)
 - 逆行列
 - 行列の正則性（正則行列）
 - 連立1次方程式の解が逆行列を用いて表わされること